

きゅうしゅう

NO.74



紫陽花と高畑山分屯基地

目次 CONTENTS

- 1. 部隊紹介 : 航空自衛隊 高畑山分屯基地
- 2. 自治体紹介 : 宮崎県串間市
- 3. 業務紹介 : 宮崎防衛事務所
- 4. インフォメーション : 新田原基地への移転訓練ほか

画像提供：航空自衛隊高畑山分屯基地



鳥居とレーダー

九州防衛局 Kyushu Defense Bureau

<https://www.mod.go.jp/rdb/kyushu/>

編集・発行

九州防衛局 総務部

福岡市博多区博多駅東2丁目10-7 福岡第2合同庁舎

TEL092-483-8811



防衛省と地域社会との協力を
象徴するエンブレム

1. 部隊紹介

航空自衛隊高畑山分屯基地



九州防衛局広報誌「きゅうしゅう」をご覧の皆さまこんにちは。
第13警戒隊長兼ねて高畑山分屯基地司令の古澤です。
自衛隊への深いご理解とご支援いつもありがとうございます。



第13警戒隊長 兼
高畑山分屯基地司令
2等空佐 古澤 幹広
(ふるさわ みきひろ)



高畑山分屯基地は、
宮崎の最南端に位置
西部方面で、唯一太平洋側を望むレーダーサイト

串間市のシンボルであり国の天然記念物に指定されている「御崎馬（野生馬）」と背景に描かれたレーダースコップの4本の線は、第13警戒隊の4個小隊等の「融和と団結」を表現し、外側の黄色は、部隊の「明るさと躍動感」を南国の太陽をイメージして作成。

基地の歴史

日々、石や木材等を徒歩にて運び築き上げたそうです。



長い年月を経て

標高538mの山頂に立つ基地



令和9年には創立70周年を迎えます！

昭和32年米軍から移管され
高畑山分屯基地が創設

私達の任務

24時間365日、レーダーによる警戒監視、レーダーを運用するための整備や基地の機能を維持することを任務としています。

警戒監視



レーダー整備



基地の機能を維持するための後方活動



写真の隊員以外にも様々な職種の隊員が勤務しています。

力を入れて取り組んでいること

それは・・・災害対処能力の強化です！



運搬訓練



行進訓練



市の関係機関と連携した
避難訓練

国民の皆様安心してもらえるよう、災害対処能力強化に取り組み、災害に強いまちづくりに貢献します。

地域との交流



隊員がひょっとこで
市民秋まつりに参加

自衛隊を知ってもらいたい！地域に何か貢献したい！

基地開庁記念
CH-47Jの体験搭乗



ボランティア活動

市役所職員の
自衛隊体験入隊



基地の春夏秋冬

豊かな自然と
高畑山に住む動物とともに。

春

桜が舞う季節



夏

あじさいが鮮やか



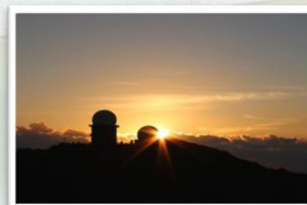
秋

紅葉で秋化粧



冬

初日の出は神秘的



さる



さる



ためき

あなぐま



うさぎ



いのしし



風光明媚な高畑山



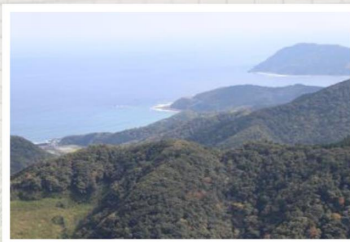
高畑山分屯基地



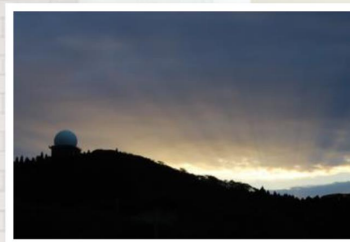
360度のパノラマ絶景！



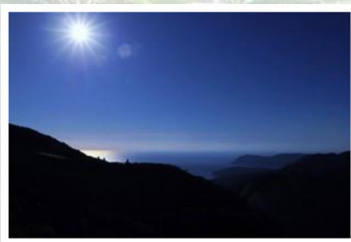
視程が良いと鹿児島も見える。



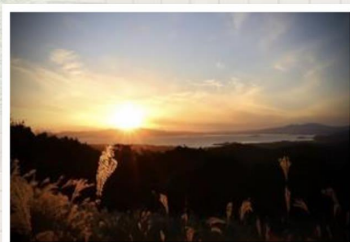
サーファーに有名な恋ヶ浦海岸



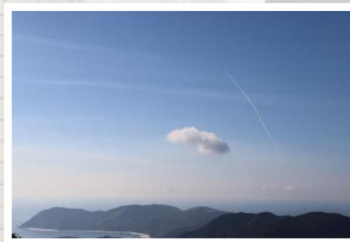
朝日の神々しさ



青天（せいてん）は圧巻



秋+夕日は見惚れますね。



種子島から発射された
ロケットも見えます。



広報係から一言

SNSに基地の活動、隊員の訓練状況や
基地見学の申込み要領など載せています。
ぜひご覧ください。

QRはコチラ！⇒



website



Instagram

2. 自治体紹介

宮崎県串間市



夢は南の果てにある



串間市長
武田 浩一

○ 串間市長のあいさつ

串間市は宮崎県の最南端に位置し、美しい海岸線からは、東に日向灘、南に志布志湾を臨み、豊かな自然に恵まれた本市を訪れると、この雄大な景色に魅了されるところでもあります。その自然豊かなところでは、幸島（無人島）には野生猿が生息し、都井岬には今年の干支でもある午（野生馬）が約100頭生息し、日本で唯一野生馬と出会えるところとして、県内外より本市へ足を運んで頂いております。

本市の誇るところとしましては、豊かな自然だけでなく、黒瀬ぶりやサツマイモ（赤ダイヤ）を代表とした数々の地場産品があります。その地場産品を多くの方々に知って頂くため、誕生物語から連想されるイメージや言葉等を再パッケージすることでより高い価値が生まれ、本市の素晴らしい地場産品についての魅力が溢れていくものと考えております。

来る2027年には、第81回国民スポーツ大会・第26回全国障害者スポーツ大会が宮崎県で開催され、本市においても、自転車と弓道の競技が行われます。本市の魅力を一つのおもてなしとして、地場産品と併せて盛り上げていきたいと考えておりますので本市に少しでも興味を持って頂ければ幸いです。



We



間



○ 串間市と自衛隊との関わり

本市には、九州防空の要である航空自衛隊高畑山分屯基地が所在しており、古澤分屯基地司令をはじめとする隊員皆様からは、本市に対するご厚情を賜り、毎年の恒例行事である市民秋祭りへの積極的な参加により盛り上げて頂きました。また、本庁職員に対する体験入隊では自衛隊の団結・士気・規律の訓練体験を通じて行政組織の一員としての自覚と規律の重要性が育まれ業務の効率性に高い評価を得ていると感じております。（次頁へ続く）

○ 串間市と自衛隊との関わり（前頁からの続き）

更に、市の防災訓練（図上訓練）では、事前調整から積極的な参加により、円滑な訓練実施に協力的でありますとともに、自衛隊の高い分析力を駆使して頂き、訓練に参加した職員の状況対応力のスキルアップに繋がっており、万が一の災害が発生した際のシミュレーションが充実し、市民への安心、安全及び安定した不断の業務が提供できるものと感じております。

このようなことから、本市にとっての自衛隊は、とても力強く、逞しくそして頼りになる存在であることは、確かなことであり、今後の相互理解と信頼関係をより深めていきますとともに、南海トラフ地震や地球温暖化による異常気象からの各種災害発生が懸念される対応では、自衛隊の存在は大きいものとなりますので、今後とも変わらぬご支援及びご協力の程をお願い申し上げます。

串間市の特産品（ふるさと納税返礼品）

串間市の「うんめもん」（おいしいもの）、是非味わってみてください！



黒瀬ぶり ロイン400g、1kg

「黒瀬水産株式会社」で徹底した管理のもとに育てられた黒瀬ぶり。しっかりと脂がのっているのにサッパリとした味わいに、食べたら驚かれること間違いなし！



トロピカルフルーツドリンク
3本セット

都井の大納地区にある「宮崎果汁株式会社」で作られたマンゴー・グアバ・パッションフルーツのフルーツドリンクです。まるで果実を食べているような味わい、高級感溢れるドリンクです。



鶏の網焼き(4パック)・タタキ
(3パック)セット

「地どりの田中」で作られた鶏の網焼きは秘伝のタレに漬け込んだモモ肉で、一度食べたら病みつきになります。タタキはもも肉とムネ肉（タレ付き）のそれぞれの美味しさが味わえます。

★串間市のふるさと納税各ポータルサイトでより詳しく！



楽天
ふるさと納税



ふるさと
チョイス



さとふる



ふるなび

3. 業務紹介

宮崎防衛事務所

宮崎防衛事務所は、宮崎県宮崎市に所在する九州防衛局熊本防衛支局の出先機関であり、管轄区域は宮崎県全域（9市14町3村）です。管内には陸上自衛隊、海上自衛隊及び航空自衛隊の各部隊があり、陸上自衛隊都城駐屯地、陸上自衛隊えびの駐屯地、陸上自衛隊霧島演習場、海上自衛隊えびの送信所、航空自衛隊新田原基地、航空自衛隊高畑山分屯基地等の主要施設が所在しております。

当事務所の主な業務は、これらの防衛施設の円滑な運用、各種訓練の実施等にあたり、関係自治体や地域住民等との連絡調整及び交渉に係る業務支援、九州防衛局が執り行う周辺環境整備事業、漁業・農業等に係る損失補償業務及び防衛白書説明などの地方協力確保事務の支援等を行っております。

次に当事務所の沿革ですが、昭和62年熊本防衛施設支局宮崎出張所として開設され、その後、宮崎防衛施設事務所と名称を変更し、平成19年防衛施設庁の防衛本省への統合により現在の宮崎防衛事務所となりました。その後、平成28年12月に国の庁舎等の使用調整等に関する特別措置法に基づき、宮崎地方法務局分室（宮崎市江平）に移転し現在に至ります。

また、当事務所管内では、昨年度より航空自衛隊新田原基地に最新鋭のステルス戦闘機F-35Bが配備され、更に今年度は、陸上自衛隊えびの駐屯地にスタンド・オブ・ミサイル（25式高速滑空弾）の配備が予定されているなど、九州南西域における防衛力が強化されているところであり、当事務所の役割は益々重要となっております。

今後も地域に密着した事務所として、関係自治体や地域住民等とのパイプ役として職員一丸となって業務に取り組んで参ります。

ご当地名物



チキン南蛮



マンゴー



宮崎防衛事務所（1F）

4. インフォメーション

日米共同訓練（新田原基地への訓練移転）

令和8年3月9日から3月19日の間、米軍再編に係る米軍嘉手納基地から航空自衛隊新田原基地への訓練移転（日米共同訓練）が実施されました。



写真：米空軍提供

【訓練の様子】

今回の訓練移転では、嘉手納飛行場の米軍第18航空団所属のF-35A（10機程度）が新田原基地を使用し、四国沖空域、九州西方空域及び沖縄周辺空域において日米共同対処能力及び部隊の戦術技量の向上を図る目的として、新田原基地第5航空団所属のF-15（8機程度）と戦闘機戦闘訓練等を実施しました。



写真：米空軍提供

【訓練の様子】

【米空軍から説明を受ける様子】



写真：米空軍提供



【現地連絡本部の様子】

本訓練の実施に当たり、九州防衛局は3月5日から3月21日の間、九州防衛局現地連絡本部を新田原基地内に開設し、関係自治体等に対する訓練の情報等の提供、基地周辺の警備など、訓練の円滑な実施のための支援を行いました。

感謝状贈呈～九州防衛施設地方審議会会長～

令和8年4月9日（木）、九州防衛施設地方審議会会長の若色敦子氏に対し、九州防衛局長から感謝状を贈呈しました。

若色敦子氏は平成29年4月から令和8年3月までの間、長年にわたり九州防衛施設地方審議会委員として防衛行政の推進に寄与されました。

また、令和5年3月から約3年にわたり同審議会会長として円滑な議事運営にもご尽力いただきました。

今回の感謝状は、これまでの防衛行政への協力に対し、深い謝意を表すものです。



▲若色敦子氏（右）と伊藤局長

令和8年度新規採用～入省式・初任者研修～

令和8年4月1日（水）、令和8年度九州防衛局新規採用者の入省式を実施しました。今年度の新規採用者は九州防衛局管内で26名となりました。

また、5月11日～14日の間、新規採用者に向けた初任研修が行われました。これから防衛省職員として働くための知識を付与する講義や、佐世保所在の部隊や米軍施設等を見学する現地研修を実施しました。



▲入省式の様子



▲初任研修（企画部長による講義）



▲現地研修（相浦駐屯地）

九州防衛局では不測の事態に対応するため、夜間・休日を問わず連絡体制を確保しております。

夜間及び休日の連絡先

電話：(092) 483-8832（自動音声による案内）

平日は17時15分から翌朝8時30分まで
休日は終日